

＜日本双生児研究学会 第36回学術講演会のご案内＞

新型コロナウイルス感染症のまん延が長期化する中、研究・教育・診療の現場や、地域のネットワークにおいて「新しい日常」が求められ、会員の皆様におかれましても対応に神経を使われる日々を過ごされていることと存じます。

新型コロナウイルスの感染状況は未だ予断を許さぬ状況ではありますが、ワクチンの接種など諸対策も講じられつつあります。本学会においても政府・自治体・研究機関の指針に従って対策を講じつつ、**第36回学術講演会は、ハイフレックス型（対面・オンライン併用）で実施**したいと予定しております。オンライン参加の形式につきましては、昨年度と同じく基本的にZoomによる口頭発表を予定しています。今年度はハイフレックス型のメリットを生かし、海外の研究者や多胎育児支援者にもご参加頂けるよう、大会準備委員会において情宣と周知に努めております。現時点では、カリフォルニア大学フラートン校のNancy Segal博士をはじめ、何人かの海外研究者が参加される予定です。

つきましては以下のように、開催日時と演題申し込みに関する情報を中心にお知らせ申し上げ、最終的な開催方法（対面会議を実施するか否か）については、11月末までに決定し、演題申し込みをされた方に直接メールでお知らせすると共に、次号のニューズレター、ならびに学会ホームページとメーリングリストにて会員の方々にお知らせいたします。発表形式に関して、なにかご要望やお尋ねがありましたら、大会長までメール(takafumimatsuba@gmail.com)でお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症の状況により開催形式等が変更となる可能性もございますが、なにとぞご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。

1. 日程、開催方法、大会長、事務局

- 1) テーマ Twins in the New Normal (ニューノーマルな社会と双子)
- 2) 日程 2022年1月22日(土) 10時00分～18時00分(予定)
- 3) 会場 ウィンクあいち(愛知県産業労働センター) 13階 1301・1302号室
- 4) 開催方法 対面・オンライン併用のハイフレックス形式
※今次大会は演題報告の形式・セッションの種別が複数ございます。
詳細は演題申込の方法をご確認ください。
- 5) 大会長 松葉敬文(岐阜聖徳学園大学)
- 6) 事務局 同(連絡先 takafumimatsuba@gmail.com)

【会場】

ウィンクあいち(愛知県産業労働センター)
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-3 8

◎JR名古屋駅より徒歩5分、新幹線口より徒歩9分です。名古屋駅から地上・地下でのアクセスルートについては会場HPをご参照ください。



【アクセスマップ QR コード】



2. 参加資格および参加費

1) 日本双生児研究学会会員の他、非会員、学生も参加できます。

2) 参加費

大会会場に来場される会員・一般の方 3,000 円

大会会場に来場される多胎家庭の方 500 円 (資料代として)

大会会場に来場される学生・院生の方 無料 (学生証をご呈示ください。)

オンラインで参加される方 3,000 円 (参加者の立場によらず通信運営費として)

※オンライン参加の参加費支払い方法等の詳細については決まり次第お知らせします。

3. 演題申込の方法と抄録集掲載原稿の送付

今次大会は報告形式が対面・オンライン併用であることその他、幹事会の了承を得て査読付きセッションを設けています。演題のお申込みにあたっては、下記の大会開催方法にご留意の上、ご希望の発表方法・セッション種別についても事務局にお知らせください。

1) 大会開催方法

a) 発表方法

①対面、②Zoom システムによるリアルタイムの口頭発表、③録画放送、の三つの形式から、いずれかの演題発表方法をご選択ください。ただし日本国内に在住する演題申込者の発表方法は、特別な事情が無い限り①か②のどちらかをお選びください (どうしても③をご希望される場合は事務局にご相談ください)。また③の録画放送の場合でも、質疑応答はリアルタイムでのご登壇をお願い申し上げます。

b) 報告セッションの種別 (三種別)

①査読付きセッション：事前の査読を通過した報告によるセッション

②一般セッション：無査読の報告 (従来の通常セッション)

③教育セッション：特に学生や多胎家庭の参加者に向けた教育的内容の報告

2) 演題申込

a) 演題の種別

- ① 査読付きセッション：概略付き論文(full paper)の送付をもって参加申込とします。
- ② 一般セッション：抄録の送付をもって参加申し込みとします。
- ③ 教育セッション：原則として、報告希望を受け付けておりません。ただし、一般セッションにお申し込みがあった報告のなかから、教育セッションでのご報告に、変更をお願いさせて頂く場合があります。

b) 査読セッションについて

査読セッションにご送付いただきました原稿は、原則として概略のみを大会抄録集に掲載させて頂きます。査読を通過しなかった場合は、一般セッションにてご報告を頂くか（原稿は抄録形式にご修正をお願いします）、報告を取下げるかをお選びください。

日本双生児研究学会では、新たに学術誌を創刊することを検討しています。演題申込で査読セッションにお送りいただいた論文を、創刊予定の学術誌に投稿するか否かについて、演題申し込み時に併せてご連絡ください。学術誌への掲載可否については、演題申込時の査読とは別に、新規に査読が行われます。大会後に修正論文をご投稿頂くことや、（抄録集に論文掲載を希望された場合は別として）別の学術誌にご投稿されることも可能です。

3) 原稿の送付

論文・抄録は、下記の要領で作成した word 文書を”JSTS36_あなたの姓名.doc”（例:”JSTS36_takafumimatsuba.doc”; 件名も同様）として tmatsuba@gifu.shotoku.ac.jp に送付してください(事務局の問い合わせ先アドレスとは異なります)。

4) 演題募集受付期間

2021年9月20日(月)～11月30日(火) 21時必着

4. 抄録集掲載原稿（抄録・フルペーパー・報告要旨）の作成

a) 抄録集への掲載

抄録集およびプログラムは電子的に作成し、webを通じて配信する予定です。査読セッションにお申し込み頂いた論文は、原則として概略のみを掲載します。論文自体の掲載をご希望される場合は、大会事務局にご相談ください。

b) 原稿書式の種別

査読セッションに英語論文で演題申し込みをされる場合、体裁が抄録と異なるためご注意ください。

【抄録原稿（一般セッション）】

- 1) 原則として抄録原稿は word による文章ファイルとします(編集する可能性がありますので pdf ではなく word 文書をお願いします)。但し、特別に理由がある場合、図表等は 1 点までとしますが、その際には応分のスペースを文字数から差し引きしてください。不明な点は大会事務局に相談してください。

- 2) 本文の文字サイズは 10.5 ポイントとし、和文フォントは明朝体で全角、アラビア数字は半角、

英文フォントは **Times New Roman** としてください。

- 3) 表題の文字サイズは 14 ポイントとし、簡潔明瞭に抄録内容を表すものとします。
- 4) 発表者名は 10.5 ポイント、所属施設名、共同研究者名の文字サイズは 9 ポイントとし、正確に表記してください。
- 5) 抄録原稿は、下記の作成例を参考に A4 判の用紙 1 枚に簡潔に記述してください。科学論文の場合は、Ⅰ 目的・Ⅱ 方法・Ⅲ 結果・Ⅳ 考察・Ⅴ 結論別にまとめてください。ただし、Ⅰ～Ⅴのような項目分けが難しければ、それ以外でも可。カラー印刷は不可とします。
- 6) 原稿には、上 20mm、下 20 mm、左右 20mm の余白をとってください。
- 7) 抄録原稿は、表題・発表者名・共同研究者名・所属施設名を記入してください。

【論文（査読付きセッション）】

- 1) 日本語論文の場合、原稿は上記の抄録に準じた書式の、word ファイルとします。
- 2) 本文とは別に、概略（abstract）を 800 文字未満でお付けください。
- 3) 本文において、文字数・図表等に関する制限はありません。
- 4) 英語論文の場合、**Twin Research and Human Genetics** に準じた書式でご提出ください。
- 5) 抄録集には原則として概略（abstract）のみを掲載します。

【報告要旨（教育セッション）】

- 1) 教育セッションのご報告者には、事務局から書式についてご依頼申し上げます。
※原則として、抄録に準じた書式の A4 2 枚程度の原稿を想定しています。
- 2) 文字数・図表等は過大なスペースを取らないよう、ご配慮ください。
- 3) 原稿は上 20mm、下 20 mm、左右 20mm の余白をとる。
- 4) 表題・発表者名・共同研究者名・所属施設名を記入してください。

5. お問い合わせ先

メールアドレス : takafumimatsuba@gmail.com (松葉敬文)

(作成例) 表題 (文字サイズは 14 ポイント)

20mm

双生児 花子¹・双生児 太郎² (文字サイズは 10.5 ポイント)

¹△△△大学・²○○○会 (文字サイズは 9 ポイント)

(一行あける)

※本文はここから記入

用紙は、上下 20mm、左右 20mm の余白をとる。

本文の文字サイズは 10.5 ポイント

和文フォントは明朝体で全角、英文およびアラビア数字は半角 としてください。

可能であれば I 目的・II 方法・III 結果・IV 考察・V 結論別にまとめてください。ただし、I～V のような項目分けが難しければ、それ以外でも可。

20mm

カラー印刷は不可とします。

20mm